



第1章 受動喫煙への曝露

子どもはどのように受動喫煙にさらされるのか？

たばこの煙は4,000を超えるガスおよび粒子を含む混合物であり、そのうち60はがんの原因になることがわかっているか、疑われている。たばこの煙には、ニコチン、ヒ素、一酸化炭素、シアン化物、その他の数え切れないほどの有毒化学物質ばかりでなく、肺に侵入するような小粒子が含まれている(6)。子どものいる場所で誰かがたばこを吸ったり、子どものいる部屋の空气中に別の場所から煙が入ってくる場合に、子どもは受動喫煙にさらされる。煙の濃度は幾つかの要因で変化するが、この章で後ほど

説明する。子どもは、彼らが時間を過ごす様々な場所で受動喫煙にさらされる可能性がある(7)。

受動喫煙の煙の成分は何だろう？

受動喫煙の煙には、何百もの有毒な汚染物質および何十ものがんの原因となる化合物が含まれている。

何百もの有毒なまたは発がん性物質が受動喫煙の煙中で確認されている。表1はこれらの成分の幾つかを示している。

表1. 受動喫煙の煙中の主要な有毒化合物

たばこの煙に含まれているもの	次にも含まれている
アセトン	ペンキ落とし
ヒ素	蟻駆除剤
ブタン	ライター用燃料
カドミウム	電池
一酸化炭素	車の排気ガス
DDT	殺虫剤
ホルムアルデヒド	防腐液
シアン化水素	死刑のガス
メタノール	ロケット燃料
ニコチン	ゴキブリ駆除剤
フェノール	水洗便器消毒剤
プロピレングリコール	不凍剤
トルエン	工業用溶媒
塩化ビニル	プラスチック

Mackay 他(6)から複写

